

F-46 デルファイ方式による未来生活の予測-(5)-家族生活・教育に関する予測
日本女大家政 ○宇川和子 他七名

目的 本調査研究は生活指標の基礎資料をうることであり、デルファイ方式により生活全般に対する未来像の予測を行うことである。

方法 アンケートにより斯界の指導的立場の方々の忌憚ない意見を収集し、その結果を分析検討するものである。尚デルファイ方式に従い、今後更に同一内容のアンケートをくり返し2回回答者の意見を収斂させる予定である。

結果 本アンケートの実施期日は昭和49年6月21日の調査票発送に始まり、7月20日締切日で終了した。調査対象としては各分野の専門家408名を送り、依頼し、256名(約7割)の回答が得られた。その内家族生活及び教育に関する専門分野別の回答者は児童(28名) 家族関係(9名) 教育(21名)であった。これら58名の、児童・家族関係及び教育に関する16項目の回答結果と、各分野の専門家を含めた全回答者の結果を比較検討し、また世代別にみれば予測などにつき検討したが、この結果の詳細は別様であるため、本紙面の都合上省略する。